

生活創造空間

にし
NISHI

～アンラシネを目指します～

第24号 2015年7月10日発行



そら豆採れました！

第3回ふれあい春まつり

5月17日日曜日、週末までの雨天の予報を跳ね返し、気温も上昇しての好天に恵まれ、第3回西区第3地区「ふれあい春まつり」が稲荷台小学校の校庭、体育館をお借りして行われました。

既に恒例となった一大イベントです。各協議会、団体、PTAなど10団体より実行委員が選出され、昨年暮れから3回の実行委員会で話し合いがもたれ、4月中旬には各参加団体への説明会を開催し準備を整えてきました。

参加団体も、年々数を増やし、今年は33団体から35の出店数がありました。各参加団体が例年のようにあるいは趣向を凝らし、楽しいゲーム、模擬店、販売コーナーや高齢者体験など、子どもから若い方、さらにはご高齢の方まで参加型のイベントなども多く、どなたも来て良かった、楽しかった、来年も是非来てみたいと思われたのではないのでしょうか。

来場者数は1,000名を越え、第3地区あるいは西区以外の周辺区の方々も、ご自分達の地区のイベントの参考にしたいとお越しになっていた方もいらっしゃるということでした。

当日のオープニングには稲荷台小学校の生徒さん達によるマーチング

バンドの演奏から盛り上がりを見せ、見事な開会セレモニーとなりました。

実行委員として中心となって下さった各地区の会長様たちの意気込みは、当日はもとより、各団体との調整、準備、進行、後片付けまで大変なご尽力だったことと推察致します。まずは感謝をもって、ありがとうございました。

— 閑話休題 —

例年スポーツ推進員の方々がやっているペタンク (pétanque)

実はすごいスポーツ競技だったんだよね。知ってました。

フランス発祥の球技で、名称は南フランス・プロヴァンスの方言「ピエ・タンケ (両足を揃えて)」に由来しています。テラン (コート) 上に描いたサークルを基点として木製のビュット (目標球) に金属製のプール (ボール) を投げ合って、相手より近づけることで得点を競うスポーツです。



ペタンクは高齢者から小学生まで年齢を問わずに楽しめるおしゃれなスポーツで、発祥地フランスでは愛好者が600万人を超え、国際的な競技となっているのです。

第3地区の連帯がスローガンとなっています「顔の見える関係づくり」は、今後もますます地域の活性化、創造へと発展していくのではないのでしょうか。

また秋には、第3地区の福祉フェスタも春まつり同様に成功致しますようお力添えをお願いして報告とさせていただきます。

(生活創造空間にし 副館長 松本孝治)

障がい当事者の思い・言葉を聞こう1

就労サポートセンター エヌ・クラブ 市井 美沙

“生活創造空間にし研修”、色々な視点から学んできた今年度のテーマは、『障がい当事者の思い・言葉を聞こう』です。昨年度の『障害者権利条約』の研修の時に当事者等の声がとても良かった・もう一度聞いてみたい・こういう場合は案外ありそうであまりないなどのご意見を頂いたことから始まりました。

第 1 回目は、林春美さんの『就労して・・・』、山本美貴さんの『統合失調症者のつぶやき』、山田彬さんの『障がい者として働く今の私と昔の私』の三本立てのお話でした。49 名の西区内外からの民生委員の方を含めた参加者の皆さんと一緒に学ぶことができました。以下、参加者アンケートの感想（自由記載）を抜粋し、紹介します。

○みなさん、自分の障がいを受け入れて、更にそれをふまえ、自分の考えをしっかり持って、何事にも頑張っているのが分かりました。（障がい福祉施設職員、女性）

○お話し下さった 3 名の方々の心からの訴えを耳ではなく、心で受け止めさせて頂きました。ご苦労も多々ある中、希望をもっていきいきと生活されているお姿を拝見し、嬉しく思いました。（民生委員、女性）

○「健常者」から「障がい者」へと移行していった時の葛藤と本音が聞けて、本当に興味深かったです。（障がい福祉施設職員、女性）

多くの方が、3 名の方のひたむきさ、周囲の仲間や支援者に感謝する心に見習わなければという感想や、支援者として支える側としてもっと知識を深めたい、学ばなければという感想を記載されていました。

生の声を聞くことの重要性や影響力を感じる第 1 回 “生活創造空間にし研修” でした。

次回は、9月12日（土）の13時から、精神に障がいのある生活支援センター西の利用者さんを講師に迎え、お話をさせていただきます。精神障がいは外見からはわかりにくく、誤解や偏見は根深いものがあります。そんな精神障がいの方の生の声に耳を傾けてほしいと思います。地域の方々の参加を切に願っています。奮ってご参加ください。



『西区地域自立支援協議会防災会議』から『西区防災会議』になる日…

今までも何度か広報で防災会議についてはお話ししてきましたが、今回は平成27年度防災会議の動きについてクローズアップしてお伝えします！！（防災会議について詳しくは広報第10号参照）

今年度は、自立支援協議会の殻を破って西区全体の取り組みへの足掛かりとなるよう、大きな一歩を踏み出そうとしています。

【平成27年度の目標】

- ① エリアでの活動は継続します。→今年度は今まで5つのエリアに分かれていたところを4つのエリアに変更し（今までの4エリアと5エリアをくっつけます）、各エリアで取り組んでいきます。
- ② 災害時、障がいのある方についての情報を集約する場の設定とそこに情報を挙げる仕組みについて考える1年とします。→イメージとしては各エリアに情報を集約する場を設定し、そこからさらに1か所に情報を集約する場を設定し、実際の災害時に情報を挙げる仕組みをシミュレーションします。
- ③ 災害については大震災に限らず、台風による水害、崖崩れ等も含めて考えていきます。
- ④ 防災会議の取り組みについて、西区全体に発信し、他の防災についての動きと連動できるように考えます。

誰もが住みやすい街、西区を「防災」の切り口でも考えていきます！！

2015・06・01

（にしうさ男）



ともしびグッズコーナーOPEN



ともしびショップがエヌ・クラブの仲間になって丸1年が経ち、満を持して県民センター店に併設されているグッズコーナーで障がい当事者のみなさん手作りの作品販売がスタートしました。今までは展示のみでしたが、6月からは手に取って見て頂いたり、気に入った商品をご購入頂けるようになりました！ご購入頂いた代金は障がい当事者のみなさんへ還元されます。エヌ・クラブの商品も販売予定です。ぜひお立ち寄りください！

ステーション邂逅Vol.16開催!

2015年6月25日(木)

今回はランチコンサートでお馴染みのジュークボックスさんが夜コン初登場!

夜コン史上初のブレイクタイムなし&みんなで歌って踊って、ジュークボックスさんと観客のみなさんが一体となった楽しい2時間でした。

夜も純さんとやすしさんのコンビネーションは最高でした♪そして、格好良く心優しいお二人に魅了された方も多いのではないのでしょうか?

諸事情あって聴けなかった方からは「行きたかった!」との声も…。

またの登場を期待です!



予告! 「にぎわい&にしよこ寄席」其の6 8月29日(土)

腹黒日記～黒々なるままに～

☆男子三日会わざれば括目して見よ☆

時が経つのは早いもので、熱心な腹黒日記ファンの間ではすっかりお馴染みの、我が家の長男も気が付けば小学校2年生となってしまった。過去のこのコーナーではドリフに影響されたり、かめすくいでゼリーを食べてしまい、かめをもらえなかったり、妖怪ウォッチのムダツカイという妖怪に憑りつかれたりもしてきた。今回のタイトルの「男子三日会わざれば括目してみよ」という言葉は、人は3日も鍛錬すれば見違えるほどに成長するので、目をこするくらいしっかり見てみなさいという意味だそうです。我が家の長男もバスケットチームではレイアップシュートができるようになったり、先日は漢字検定9級のテストを受験していた。このままでは、いつか、皆様に報告できるような笑い話を提供してくれなくなってしまうのではないかと危機感を覚え始めています。まさにうちの長男は腹黒日記のゴーストライターでした。そんな長男だが、先日、昼のロードショーでやっていたホラー映画「呪怨(2000年、清水崇監督)」を過ってちら見して以来、怖くてトイレに一人でに行けなくなった。まだまだこれからも話題を提供してくれそうだ。(腹ぐるーる)

生活創造空間にし URL : <http://www.souzoukuukannishi.org>

【発行・印刷】生活創造空間にし広報委員会 〒220-0055 横浜市西区浜松町14-40

☎ 045-250-6506 (ガッツ・ビーと西) ☎ 045-250-6470 (エヌ・クラブ)